



## 非常時マイクログリッド実証試験が行われました！

2026年3月22日(日)の午後、博物館では、長野県企業局による非常時マイクログリッド実証試験が実施されました(写真1,2)。マイクログリッドというのは、小さな地域単位で電力を作り、ためて、使う電力システムのことで

大鹿村内には、長野県企業局の水力発電所が2か所あります、大河原地区にある大鹿発電所と鹿塩地区にある大鹿第2発電所です。そのうち、大鹿発電所で発電された電気は、長野県企業局で整備した送電線を通して村外の変電所に送られ、村内では使われていません。村内の電気は、村外の変電所から配電線を経由して村内の各家庭に送られるという経路をたどります。万が一、災害等で村外の変電所と村の間の電線が切断するなどした場合、全村で長時間の停電となってしまうことが懸念されます。そこで、非常時には、大鹿発電所から直接村内の各施設・民家等に送電できるように切り替えをする仕組みが構築されています。その仕組みを使って、大鹿発電所から直接送電する実証試験を行うことになったそうです。

今回の非常時マイクログリッド実証試験では、大鹿村中央構造線博物館も、実証試験のエリアに含まれることとなり、切り替え作業時と切り戻し作業時の2度、停電することになりました。1回目は13:30に蛍光灯が消灯し、約5分後に点灯しました。大鹿発電所で作った電気による灯りです。2回目は、15:15に蛍光灯が消灯し、約1分後に点灯しました。これで実証試験は無事終わりました。

なお、道の駅歌舞伎の里大鹿のトイレの前に、大鹿発電所の水力発電機の模型が展示されています。是非見てみてください。(宮崎)



写真1:博物館の停電・復日の状況を大鹿発電所に中継



写真2 県による電圧等測定